

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第二部・JASDAQ)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成24年 5 月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成24年 5 月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 23 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	611	493	863	738	645	643	584	720	617	744	721	456
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	71,791	65,614	102,934	106,089	91,504	72,784	70,070	86,419	68,855	65,476	73,015	50,117
顧客口座数 (単位：口座)	157,862	159,773	161,785	163,794	165,636	167,644	169,764	173,298	175,640	177,820	180,145	181,877
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	35,725	36,498	32,152	33,195	34,799	36,317	39,932	38,851	37,526	39,751	36,029	37,888

年 月	平成 24 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	508	652	638	485	522							
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	53,593	78,387	112,254	80,325	83,691							
顧客口座数 (単位：口座)	184,260	186,877	189,570	192,007	194,315							
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	37,732	36,935	39,034	41,341	43,321							

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 平成20年 5 月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
 4. 平成20年 6 月より外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
6. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 5月次の概況 >

5月の外国為替市場は、米ドル/円については、前月に引き続き欧州債務問題に対する懸念や米経済指標の強弱入り混じる結果に揉み合いとなり、月初から下旬にかけて80円を挟んでの極めて狭いレンジで推移したのち、月末には欧州債務問題の警戒感が高まったこと等を受けて円高方向に相場が動き、78円台前半で月末を迎えました。米ドル/円の月を通じての変動率は、1月以来の極めて低い水準となりました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、欧州債務問題に対する警戒感の高まりから円高基調での推移となり、5月31日にはユーロ/円が約11年半振りの円高ユーロ安水準となる96円半ばをつける展開もありましたが、米ドル/円を含めた全体としての変動率は前月をやや下回る水準となりました。

このような中、外国為替取引高は、スプレッド縮小による競争力の向上を背景としつつ各種の営業キャンペーン等を推進した結果、前月比約4%増加の83,691百万通貨単位となり、これに伴い営業収益は522百万円となりました。顧客基盤については、顧客口座数がゴールデンウィーク期間の開設口座数の落ち込み等の影響により前月比2,308口座増加の194,315口座にとどまった一方、外国為替取引預り証拠金は、ポジション保有顧客数の増加や外貨のロングポジション（買建の建玉）自体の増加に伴い前月比1,980百万円増加の43,321百万円となりました。

以 上